

平成30年8月2日

総務部防災課

平成30年度夏の避難所総合訓練の実施結果について

1 実施日時等

- (1) 日時 平成30年7月22日（日） 午前10時から12時まで
- (2) 場所
明化小学校 校舎及び体育館
- (3) 参加者…………… 184名
 - ① 区民防災組織…………… 32名
 - ② 区民(体験型訓練参加)…………… 89名
 - ③ 学校職員・PTA…………… 8名
 - ④ 防災関係機関等（医師会・薬剤師会・歯科医師会・消防署・消防団・警察署
・手話会・アマチュア無線・日本郵便）…………… 37名
 - ⑤ 区職員（災害対策本部員含む）…………… 18名

2 訓練テーマ

訓練テーマは「健康管理と衛生管理」とし、以下の訓練を行った。

(1) 避難所開設キットによる初動対応訓練

今年度の総合防災訓練より避難所開設キットを導入し訓練を行った。キットには初動対応として、発災から3時間を想定した行動手順書が入っており、避難所運営協議会スタッフはその行動手順書に沿って避難所開設及び運営に必要な行動を確認した。訓練を行う過程では行動手順書をより使いやすくするための内容や掲示物の効果的な貼り出し方などの改善点等も検討しながら訓練を行った。

(2) 健康管理と衛生管理

健康管理では、夏の暑さへの対応策として、手軽に作れる経口補水液の作成や試飲を行い、避難所での水分補給の大切さを周知した。また、協定事業者による「避難所における熱中症予防対策」と題してミニ講義を実施し、参加者への周知を図った。

衛生管理としては、特に気温の高い時期に気をつけるべきこととして、配給時の食中毒予防や適切な手洗いの仕方などのパネル展示等により注意喚起した。

(3) 物資搬送訓練

東京都トラック協会文京支部と連携し、支援物資の搬送訓練を実施した。

活動としては、給食物資班が中心となり、トラック到着後の荷下ろしをはじめ、物資保管場所への搬送及び物品管理業務などを体験し、物資の受入要領について避難所運営協議会スタッフに周知した。

3 訓練内容

(1) 避難所運営訓練

避難所運営訓練、体験型訓練の二つに分けて実施する。

なお、避難所運営訓練においては、避難所開設キットを使用し、訓練を行う。

ア 初動対応訓練

- ①避難所の正門を開錠
- ②備蓄倉庫から備品取り出し
- ③防災行政無線機を活用した災害対策本部への連絡（区職員到着メール）
- ④受水槽の確認
- ⑤避難者の待機、誘導
- ⑥施設内のライフラインの確認
- ⑦トイレの使用可否確認及び準備
- ⑧施設内の安全点検
- ⑨防災行政無線機を活用した災害対策本部への連絡（避難所開設可能メール）
- ⑩土足禁止スペースの特定
- ⑪本部及び班編成

イ 各班訓練（初動対応終了後）

- ①運営本部班
 - ・避難所本部開設
 - ・施設内の利用計画策定
 - ・避難所運営ルール規定及び周知
- ②総務情報班
 - ・受付訓練
 - ・災害時特設公衆電話設置訓練
- ③避難者援護班
 - ・居住スペース確保訓練（段ボールベッド）
 - ・プライベートテントの設営
 - ・要配慮者用スペース設営訓練
 - ・暑さ対策コーナー（経口補水液の作成、パネル展示）の運営
 - ・妊婦体験コーナー
- ④救護衛生班
 - ・救護所設営訓練
 - ・避難所内の衛生管理
 - ・医師のトリアージ補助
 - ・応急手当（三角巾、包帯による止血法・固定法）
 - ・トイレ設営訓練（マンホールトイレ・簡易トイレ）
- ⑤給食物資班

- ・照明機材の保管場所確認
- ・炊き出し訓練
- ・受水槽からの給水訓練
- ・応急給水栓からの給水（スタンドパイプ活用）
- ・物資搬送訓練

(2) 体験型訓練

発災時に想定される状況の初期対応を体験した。

- ① 消火訓練（消火器、まちかど防災訓練車）
- ② 倒壊建物救出訓練（ジャッキ、バール）
- ③ 煙体験ハウス
- ④ 防災体験ツアー
- ⑤ 応急救護訓練（AED取扱い、心肺蘇生法）

(3) 展示ブース

- ① 小石川消防署・消防団
- ② 富坂警察署
- ③ 日本郵便株式会社
- ④ 文京区アマチュア無線局災害非常通信連絡会
- ⑤ 文京区役所（防災課、地域整備課）

4 参加者意見（検討会及び訓練中の意見）

【避難所開設キットについて】

- ・キットがあることで災害時に何とか自分たちで避難所の開設ができそうである。
- ・キットを使った初動対応訓練を実施したが、スムーズに行動するためには訓練の積み重ねが必要と感じた。
- ・キットには様々な種類の掲示物が入っているが、より多くの掲示物を用意してほしい。
- ・キットを使いこなすためには強いリーダーシップが必要だと感じた。

【訓練全体について】

- ・厳しい環境の中で避難所生活を送ることに不安を感じた。暑さをしのぐ方法をしっかりと身につけておきたい。
- ・今回の訓練を通じて校舎を見ることができ、被災した際の避難所生活をより具体的にイメージできるようになった。
- ・受付で町会名を聞いているが、避難所該当町会以外の参加者が多かった。実際に災害があった場合においてもそのような方が避難してくることが考えられるので、その対応を考えておく必要があると感じた。
- ・明化小学校の備蓄倉庫は地下にある。重量のある備蓄物資を運び出すことが大変であるので、もっと若い方にも参加してほしい。

【防災課より】（検討会にて参加者へ）

キット最大のメリットは、今回のように出た意見を次に生かすことができるという点にある。そのため今回あがった検討事項を再度見直して、行動手順書を更新し、より使いやすく分かりやすいものにして共有を図りたいと思う。

また、今回の訓練のように厳しい環境の中での被災も考えられるため、夏の暑さや冬の寒さへなどの季節に応じた備えも重要である。まずは、自身の健康管理は自身で行えるよう対処方法を身につけておく必要がある。

今後も継続して訓練を行っていくことが必要だと思う。来年は皆さんが主体となって訓練を実施していただきますようお願いしたい。